

緑化だより

No.130 平成29年8月号



チヂミバコブゴケ

- 季節の花(クズ)
- 小さな世界こけ(嫌われもののコケ)
- 昆虫の話(植木鉢に潜む)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内



ryokka 緑化の未来
広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園
〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

クズ

「ま葛(くず)延(は)ふ 夏野の繁(しげ)く かく恋(こ)ひば
まこと我が命 常(つね)ならめや」

詠み人知らず 万葉集 10:1985

「夏の野に葛が這い繁っているように、しきりにこれほど恋うていたなら、
本当に私の命はどうなってしまうだろうか。」

クズは空地をツルだらけにするほどの生命力と繁殖力があります。この歌は絶えず思い続けるせつなく苦しい恋を、クズのツルに重ね合わせて詠んでいます。

クズは古くから親しまれてきた植物で、秋の七草の一つとしてよく知られています。夜に睡眠運動のため葉が裏返るので、別名「裏見草」とも言われます。

クズはマメ科の植物で、葉の脇から短い花序を出し赤紫色の蝶形花をつけます。葉は三出複葉で互生、長い柄があり裏面には白い毛があります。北海道、本州、四国、九州、朝鮮半島、中国大陸等に分布し、学名「*Pueraria lobata*」はスイスの植物学者、プエラリさんの名前から来ています。



クズの花

クズという和名の由来は場所の名で、大和の国(奈良県)、吉野川の上流に今でも国栖(くず)の地名があります。昔はその地域に住む人を国栖人と呼び、クズの根からとれるデンプンを売って生活をしていました。その粉は「国栖」と呼ばれていて、のちに葛という中国名からとった当て字がつけられたと言われています。

クズは繁ると厄介な植物ですが、じつはとても生活に役立つ植物で、無駄な部分がほとんどありません。根は食料、薬用になり、葛粉や葛根湯は有名です。特に吉野の本葛は高級和菓子の原料になります。ツルからは良質の繊維が取れ、これを紡いで織ったものを「葛布(くずふ、かつぷ)」と言ひ、絹のような光沢をもった美しい布です。静岡県掛川市では数軒の工房があり、技術を守っています。

日の当たる石垣や法面、空き地にいつのまにか入り込んでいる秋の七草の一つ、美しいクズの花を鑑賞してみましょう(上村)

小さな世界こけ

嫌われもののコケ

庭や畑の片隅などで、退治してもすぐに生えてくるゼニゴケ。日本庭園などで人気のスギゴケに比べ、退治の方法についての質問が多い、嫌われもののコケを紹介しましょう。

ゼニゴケの仲間は、地面をほうようにして広がります。このような形を葉状体と言います。

ゼニゴケは、幅1cmくらいで葉の中央に黒い点々のすじ模様があります。雌雄異株で、雄株は傘を広げたような雄器托をつけ、水がかかると傘の表面から精子が流れでて移動します。雌株は傘が破れたように深く6~10裂した雌器托をつけ、精子が到達すると受精し、傘の下に胞子体を作り胞子を飛ばし



ゼニゴケと無性芽器

ます。それとは別に、葉の上に薄緑色の王冠のような無性芽器を作ります。その中で作られた無性芽がこぼれ落ち、株を増やします。

ジャゴケは、湿り気が多い土壌や水の滲み出てくる岩壁などで見られます。幅1.5 cmくらいの大型のコケで、ゼニゴケと同じく葉状体です。

葉の表面は六角形の区画が並び、ヘビのうろこに似ていることが名前の由来です。雌雄異株で、雄株は葉の先に円形の雄器托をつけ、雌株は早春、とんがり帽子の雌器托をつけます。(山根)



ゼニゴケの雄器托



ゼニゴケの雌器托



ジャゴケの雄器托



ジャゴケの雌器托

昆虫の話

植木鉢に潜む

枯れた植物を片づけるために植木鉢をひっくり返すと、土の中から白くブヨブヨして、Cの字に丸まった、十円玉ぐらいの大きさの幼虫が出てくることがあります。カブトムシの幼虫に似ているけれども、それにしては小さすぎるこの幼虫は、なんという昆虫の幼虫なのでしょう。

その答えは「ドウガネブイブイ」と「アオドウガネ」です。どちらもコガネムシの仲間で、広島市内の街中でも彼らを普通に見ることができます。十円玉のような銅色をしたものがドウガネブイブイ、緑色の鈍い金属光沢をもつものがアオドウガネです。ブイブイというのは彼らがブンブンと音を立てて飛ぶ姿から名付けられたようです。西日本では暖かい所を好むアオドウガネの方がドウガネブイブイより多いようです。

彼らの幼虫はカブトムシのように腐葉土を食べているのではありません。幼虫が食べるのは植木鉢の中にある植物の根っこです。幼虫は根っこを噛み切ってしまうので、植物を枯らしてしまうこともあります。植物を育てる人には根切り虫と言われる大変嫌われています。また彼らの成虫も大変嫌われています。色が綺麗で丸っこくキュートな見た目とは裏腹に、野菜や花の葉っぱをかじるとしても迷惑な奴らだからです。

彼らの幼虫の飼育は簡単です。飼育ケースに土を入れ、ジャガイモを埋め、定期的に水をやるだけです。ジャガイモはかじられても腐りにくく、根っこの代わりとしていいエサになるのです。昆虫館の周りにも彼らはたくさんいて、芝生の下でモリモリと芝生の根をかじっているようです。冬になり、丸々太った彼らを食べるために、おなかをすかせたイノシシが芝生を掘り返すのもとても困った事です。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



ドウガネブイブイ



アオドウガネ

研修会のご案内

- 8月5日(土) 『**天気予報 実はそうだったのか!**』 10:00～12:00 学習室 集合
 もっと活用するためのコツ
 講師：気象予報士・防災士
 元TSSお天気キャスター
 玖保 陽子
 ※ 自由参加・無料
- 8月11日(金・祝) 『**苔玉を作ろう**』 13:00～15:00 学習室 集合
 苔玉作りに挑戦しよう
 講師：森林インストラクター
 長井 稔
 ※ 要予約(先着30名)・材料費1000円
- 8月20日(日) 『**夏休み木工教室**』 10:00～12:00 学習室 集合
 木工クラフトに挑戦しよう
 講師：ゆうもあファクトリー
 木原 博和
 ※ 要予約(先着30名)・材料費1000円
- 9月3日(日) 『**秋の七草と自然探勝**』 10:00～12:00 学習室 集合
 秋の七草の学習と自然観察
 講師：緑花文化士
 横山 直江
 ※自由参加・無料

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

- ・手作り作品展「モーモーアート」
 ～9月9日(土)

(ボード展示)

- ・愛鳥週間原画コンクール入賞作品展
 ～8月9日(水)
- ・広島の美味しい なば写真展
 8月10日(木)～9月10日(日)

場所:学習展示館

- ・福田地区の蝶写真展



昨年手作り作品展「モーモーアート」より



福田地区で見たチョウ 写真展

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

夏休み「自由工作塾」 予定日

7/30 (日)	8/6 (日)	8/9 (水)	8/20 (日)	8/27 (日)
----------	---------	---------	----------	----------

時間 10:00～15:00(随時受付)
 場所 レストハウス裏庭
 内容 木の葉や木片などの自然素材をつかって自由に工作しよう!
 予約は不要で、材料費100円をご用意ください。
 (荒天時は中止します)

- ・8月は月曜日が休園日です
- ・土・日・祝日は17:00まで
 延長して開園します。

～森林公園イベント情報～

- 8月5日(土) **夜間開園『星の観察会』** 19:30～21:30(受付)19:00
 望遠鏡からの映像をスクリーンに映して解説、
 当日先着150人は直接望遠鏡でも観察できる 協力：広島天文協会
- 8月13日(日)～15日(火) **森の縁日** 9:30～15:00
 昔懐かしい縁日を楽しむ
 当日先着500人、300円/枚(6回チケット制)